

平成 20 年 10 月 15 日発行

しのはらの風 20-6号

小淵沢町篠原区情報紙
発行人; 区長 松井 皎
編集; 藤代 富美男

<いま、改めて思うこと>

この夏、突然「家族アンケート」を行いました。みなさん、気持ちよくご協力していただきました。このことにより敬老対象者には、ささやかな「記念品」ですが滞りなくお渡しすることが出来ました。また、「しのはらのまつり・開拓祭&敬老の集い」の実行委員のみなさんには、大変お世話になりました。そして無事に終わることが出来ました。本当にありがとうございます。

さて、この度の 135 枚のアンケート結果から分ったことは、ひとり暮らしの方は 15 世帯、二人でのお住まいの方は 62 世帯、124 人ということです。また、「知り合いが少ないので」「高齢者で一人暮らしなので」不安に思っていることも知りました。

このようなことから感じることは、地域の様々な団体が、さまざまな機会を通して地域交流や親睦を深める活動が行われ、それが安心感のある地域づくりにつながっていくことだということが、また、改めて教えられた思いです。 (区長 松井 皎)

<市議会から>

9 月開催の北杜市議会での質問から山梨日々新聞の抜粋を一部転載します。行政区に加入していない市民や別荘住民のゴミの搬出に関する質問があがり「未加入者は負担をせずに各町の支所でゴミを出しているのは不公平感がある」や、「行政区への加入の有無や市民であるか、ないかに関わらず、適切な額の受益者負担を前提に、ゴミステーションを利用できるようにしてはどうか」といった意見が出された。市は「行政区へ加入していただけるようお願いしていきたい」と地区未加入者への加入促進を続けるとともに、別荘住民にも、ゴミステーション建設負担金を求めていく考えを示した。

<エコツアー>

前号でご案内してその後に募集しましたエコツアー（ゴミ処理場見学）は 22 名の参加申し込みを頂きましたので締め切りとさせていただきます。絶対に避けては通れないゴミの問題に関心を持っていただきありがとうございます。今回参加できなかった方も次の機会も作りたいと思いますのでふるって参加してください。

<中間会計監査>

区の活動は区民の皆様からお預かりした区費や市からの補助金等で賄われていますが、この度本年度の中間会計監査を実施し監事のお二方に確認していただきました。2~3 ページに報告書を掲載します。

「開拓の思い出」、今回は十三、十四を掲載します。

「開拓の思い出」 十三、祭

志村 卓爾

祭典、篠原神社は篠尾村の大滝神社の分神社です。女取帰農組合の入植が九月十五日だったのでそれを記念して毎年秋大祭が欠かすことなく現在迄で受け継がれている。

当時は九月という月は台風が良く上陸して荒れる月で厄日のようにすら云う話もあり祭日を変更したらと云った話も度々あったが変更することなく続く。祭りにつきものの酒、葡萄酒を石和町にある小松農園へ配給を受けに行き帰宅途中で夜になり甲斐小泉駅(で)下車、嵐の夜小海線路づたいに鉄橋を渡らなければならぬ小荒間の坂本忠友さんから提灯を借りてやっと帰宅したこと。当時はすべて統制品で配給制度で酒類は石和迄で配給を受けに行ったことも度々でした。祭には舞台を造り県開拓課と開拓連の職員の皆様方が隠し芸を披露してくれるなど又相撲も立派な土俵を造り近村からも大勢参加、小荒間の駐在のお巡りさんも参加柔道できたえた技で頑張り強かった。御神輿を当時組合長の長江敏夫さんの兄さんが大工さんで仕事のあい間に造って寄贈して下さり当時近村には御神輿の有る村はなく、手造りの御神輿が自慢だった。

最初は篠尾村へも御神輿を担ぎ小学校の横を通り小林商店前から上笹尾公民館前、滝の前から役場の裏を通り篠原へ帰って来た。

長い道中長老の茅野勝さん青柳栄枝さん達は甲府の祭にならって紋付袴で御神輿に付き添いながら歩いた。提灯を下げて消防の役員さんは御神輿を迎えに和光さんの下迄出迎へに行った昔の祭。

モロコシの茎で蜜を造っていた仲間達、花輪、長沢、池原、志村、志村達で茎をしぼって造った水飴でオコシ、羊かんを造り祭の売店へ参加、人気が良い沢山売った。他に出店も他町村から来て店を開いて賑やかな祭りだった。

「開拓の思い出」 十四、篠原地区消防

志村 卓爾

入植後の消防について、当地区は小海線が地区中央を走っていて、汽車の石炭のもえがらに依る火災が多く、又家屋の火災もあった。篠尾村消防団よりの要請もあり篠尾村消防団より絆天を借り受け部員十名で部をつくり最初の出初式に参加。分列行進の際見学する予定だったのに、団長の号令で最後に行進する様に言われ後尾について行進をはじめ団長の前方で頭右の号令をかけたところ、部員二名が止まってしまった、笑い話も思い出の一つだ。其の後篠原消防団を結成、渡辺秀吉さんの御努力もあり篠原消防団と染めた絆天を揃える。山火事等に、大活躍だった。其の後小淵沢町消防団第九部を女取区と合併現在の第九部を結成する。